

2011-B					
拠出金・基金の名称:		ASEAN貿易投資観光促進センター拠出金			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: 東南アジア諸国連合貿易投資観光促進センター(日本アセアンセンター)					
【所管官庁担当局課・室名】: 外務省アジア大洋州局地域政策課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 プロジェクト(貿易事業, 投資事業, 観光・交流事業, 広報事業)の実施					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成23年度	126,292	-	-	円建て	100
平成22年度	157,022	-	-	円建て	100
平成21年度	132,939	-	-	円建て	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 ASEANが2015年の共同体構築及び更なる統合を目指す中、域内の経済格差の是正は最大の課題の一つであり、我が国としてもODAによる開発援助、経済連携の推進等の様々な手法を用いて積極的に支援を実施してきている。そのような中、日本アセアンセンターにおいても、義務的拠出金については、ASEAN10か国全体に裨益する事業の実施や、事務局機能維持のために充てる一方、任意拠出金については、域内の経済格差是正により重点を置き、後発加盟国であるカンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム、またブルネイ、インドネシア、マレーシア、フィリピンの比較的開発が遅れた地域に焦点を当て、日本市場へのアクセスに関する情報や助言の提供、各国政府の投資担当者や観光事業者の能力向上等に貢献する事業に活用されている。また、近年では、従来の事業にとどまらない分野において新たな試みを進める際にも任意拠出金は活用されている。 こうしたセンターの活動については、毎年開催される日ASEAN首脳会議や外相会議の成果文書においても、ASEAN域内の経済格差を縮小する上でセンターが果たしている重要な役割に繰り返し言及がなされる等、ASEAN側から高く評価されており、我が国がASEANとの連携の下に地域協力を進めていく上でも非常に重要な存在となっている。					